



ザンビアの経済概況・月報(2015年12月)

主なマクロ経済指標	2014年	2015年
1. 人口 (百万人)	15.0 (estj)	15.5 (proj)
2. 人口増加率 (%)	2.88 (est)	3.3 (est)
3. 失業率 (%)	7.8(2012)	7.8(2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	26,758 (est)	28,567 (proj)
7. GDP成長率 (%)	6.0	4.6 (proj)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1 (2012)	1,358(2012)*1
9. インフレ率 (%)	7.9	21.1(Dec)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	141.51	176.46(Dec)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	145.19	-100.67(Nov)*2
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-64.65*4	0.84(Nov)*3
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	9,696.20	667.96(Nov)*2
14. 対日輸出 (百万米ドル)	36.84*4	3.41(Nov)*3
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	9,551.01	768.63(Nov)*2
16. 対日輸入 (百万米ドル)	101.49*4	2.57(Nov)*3
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,250 (2013年)	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	181 (2013年)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,811 (2013年)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	3,100 (2014年12月末)	3,600 (2015年9月末)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	4,700 (2014年12月末)	6,300 (2015年9月末)
22. 為替レート (対米ドル)	6.15ZMW*5	10.84ZMW(Dec)*4
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	11.56	15.50 (Dec)

※() 内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

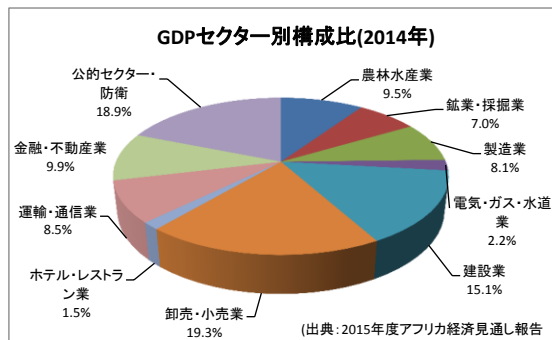
*1 購買力平価 (PPP)による一人当たりGNI
*2 1USD=12.18ZMW (2015年11月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3 1USD=120円 (2015年11月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2 <2014年2月>
/3 主要輸出品目: 銅/アルミ線/硫酸/金
主要貿易相手国(輸出): スイス 43.8%, 中国 11.6%, シンガポール 6.8%, 南アフリカ 6.2%, コンゴ(民) 5.3%, その他 26.2%
主要輸入品目: 軽油/硫酸/内燃機関用燃料/除草剤
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 27.1%, モーリシャス 13.8%, コンゴ(民) 12.6%, クウェート 7.6%, 中国 7.2%, その他 31.7%
*4 1USD=106円 (2014年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK (旧通貨) = 1 ZMW (新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典>
1.-2. 6.7.: Country Report 2015 (EIU), The World Factbook (CIA), Ministry of Finance in Zambia / 3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security) / 4.: Census 2010 / 8.: UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO), Ministry of Finance in Zambia / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 20., 21.: Ministry of Finance in Zambia / 22.-23.: Bank of Zambia

<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ (ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
坑内掘りに6%、露天掘りに9%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(12月)

1. “2014年のFDI流入額、約32億米ドルに増加” (Daily Mail, 2日)

2014年のザンビアの外国直接投資 (FDI) 流入額は、2013年比15億米ドル増の31億9,490万米ドルに増加した。カリヤリヤ・ザンビア中銀総裁は、1日開催の『ザンビアにおける海外民間投資・投資家認識 (Foreign Private Investment and Investor Perceptions) 2015年版調査』ワークショップ会合にて、2015年データについても、予備分析の結果、2015年前期のFDI流入額が2014年前期の記録を上回っており、ザンビアに対する投資の勢いが目覚ましく好転している旨発言した。

2. “電気料金、値上げ” (Times, 3日)

エネルギー規制委員会(ERB)は、ザンビア電力公社(ZESCO)の電気料金の値上げを実施し、今回の値上げにより、1キロワット時平均0.37クワチャから1.13クワチャ料金が値上げされた。同値上げは、12月2日夜から開始された。(当館注: 当該電気料金は、2016年1月1日より再度値下げされている。)

3. “日本、ザンビアの電力セクターを注視” (Daily Nation, 11日)

ザンビア訪問中の黄川田外務大臣政務官は、電力供給がザンビアで活動する日本企業の活動にも直接的に影響を与えている点を指摘したうえで、電力供給の安定化を目指すべく、日本はザンビアの電力セクターに対する投資に関心がある旨発言した。同政務官は、10日にルサカ市内で開催した記者会見にて、ザンビアの経済発展について協議すべく、ルング大統領、シリヤ・エネルギー・水開発大臣、カラバ外務大臣、ルビンダ農業大臣と既に面会した旨発言した。

4. “世銀「経済成長は減速」” (Daily Mail, 11日)

スミス世銀上級エコノミストは、9日開催の『第6弾世銀ザンビア経済報告書』の発表式にて、資源価格の下落、中国経済の減速及び緊縮しつつある世界金融状況が、ザンビアの経済成長の減速を引き起こす主因である旨発言し、これらの要因によって、2016年のザンビアのGDP成長率は3%~3.5%と予測されている。

5. “フィッチ社「2016年はザンビアにとって厳しい時期であり、さらなる借入を強いられるであろう」” (Post, 13日)

格付会社フィッチは、ザンビアが極めて困難な状況に直面していることを指摘したうえで、2016年はザンビアにとって厳しい時であり、さらなる借入を強いられるであろう旨明らかにした。また、フィッチは、ザンビアの歳出が拡大しつつあるために、2016年にユーロボンドを発行せざるを得ないであろうと述べた。

6. “北部州、ルアブラ州及びムチンガ州、活況に” (Daily Mail, 16日)

ルング大統領は、北部州、ルアブラ州、ムチンガ州の住民に対し、ペンスローカサマ間の330キロボルトの送電線(中国工商银行[ICBC]が1億5,300万米ドルを融資)の稼働開始によって彼らの生活が改善されることを約束した。同日、ルング大統領は、総額1,000万クワチャのシワンガンドウ植林プロジェクトを開始し、フェーズ1では500人、プロジェクト全体では2,000人以上の雇用が新たに創出される。

7. “バイオ燃料、到来” (Times, 17日)

16日、ルング大統領は、ザンビア初となるバイオ燃料製造工場の建設を開始させた。同工場は、キャッサバ栽培を含む1億9,000万米ドルのプロジェクトの一部であり、ルアブラ州カワンプワ郡に位置する。工場建設は2016年に、燃料の生産は2017年開始予定である。

8. “燃料不足、終結” (Daily Mail, 20日)

ルサカの大部分を襲った燃料不足が終結した。燃料不足は、燃料を盗んだ疑いのあるタンカー運転手が射殺された事件を受け、同僚の運転手たちが抗議のためストライキを実施したことから端を発した。18日、カンピオンゴ地方自治住宅大臣、ムウィラ内務大臣及びブル・エネルギー水開発副大臣は、タンカー運転手らと長時間にわたる会合の場を設け、結果、運転手らはガソリンスタンドへの燃料の運搬再開に同意した。

9. “銅産出の目標値、達成できない見込み” (Daily Mail, 23日)

チンバ・ザンビア鉱山業会(ZCM)会長は、銅の国際価格の低迷、電力不足、鉱山企業に対する付加価値税(VAT)還付の遅れ等を背景として、2015年の銅産出量が目標値である80万8,000トンに達しない見込みである旨発言した。2014年のザンビアの銅産出量は70万8,000トンを記録したが、2015年8月末時点での産出量はわずか44万1,584トンであった。

10. “12月のインフレ率、21.1%を記録” (ZNBC, 31日)

2015年12月のインフレ率は21.1%を記録。なお、11月のインフレ率は19.5%。